

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

岐阜県郡上市 郡上市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	対象	ド透訓	救臨へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
39,761	15,089	-	第2種該当	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
108	42	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	150
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
107	-	107

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

郡上市における中核的医療機関である立場から二次医療を中心に政策的医療として救急医療、小児医療、周産期医療、へき地医療、高齢化率35%を超える同市における高齢患者等の受け皿としての慢性期医療及び在宅医療等幅広く全般的に担っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

医療収支比率は、新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関として専用病床8床を設置し療養病床を閉鎖したこと等による入院収益の減少、燃料価格や電気料金の高騰等による医療費用の増加により83.0%と昨年度と比較して2.7ポイント減少したが、全国平均には及ばないものの類似病院の平均を上回っている。また経常収支比率についても医療収支比率と同様の理由にて1.9ポイント減の91.2%となっており、こちらは類似病院、全国平均共に下回っている。その他の指標については病床利用率が80.5%、材料費対医療収支比率が16.9%と類似病院平均、全国平均と比較して良好な状態であり、職員給与対医療収支比率も66.6%と類似病院平均より低く抑えられており、施設の有効利用、適切な職員配置、薬品・診療材料の効率的な調達が行われていると考えられる。患者1人1日当たり収益は療養病床閉鎖により入院については類似病院を上回ることとなったが、全国平均を下回り、外来については両方の平均を下回っている。これらの平均値は比較的医師等医療従事者の確保が容易でかつ資金に余裕があり高度な医療を提供できる都市部の病院、特に全国平均は大規模病院を含むことから高くなり、逆に当院のような地方にある病院は低くなる傾向にあるが、安定した収益を得るためにはその原因について分析する必要がある。このような状況から累積欠損金比率が昨年度と比較して12.1ポイント増加し、72.8%と類似病院の平均を下回ったが、今年度から全国平均を上回ることとなった。今後はコロナ禍解消後の国保白鳥病院との市内における公立病院としての役割の検討や医師確保等による収益増や経費節減を中心とした経営改善に対する努力が必要であると考えている。

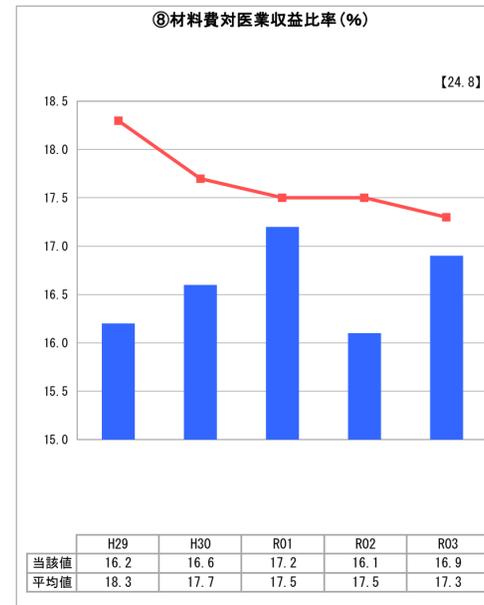
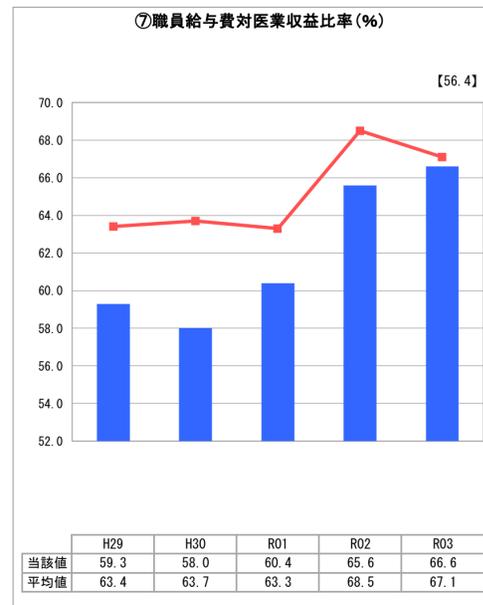
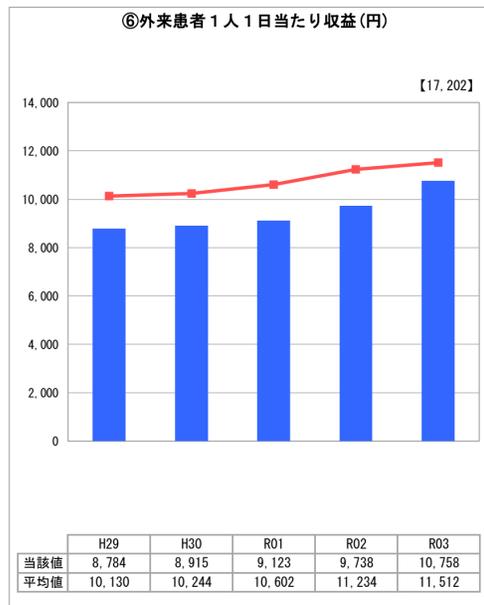
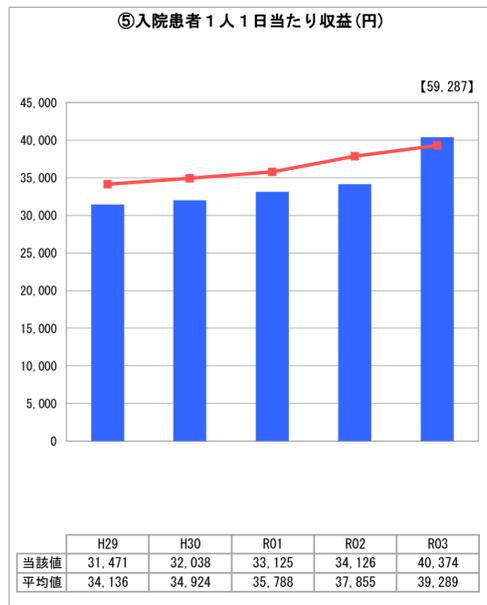
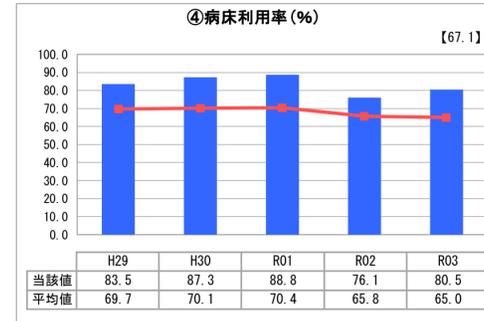
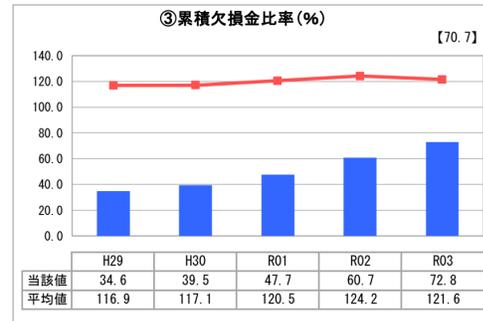
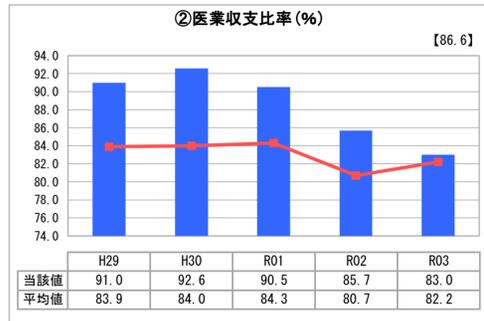
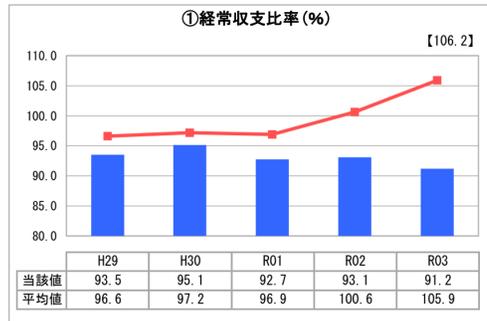
### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は44.7%と類似病院、全国平均を下回っており、その要因は有形固定資産の大半を占める建物が耐用年数39年に対して経過年数が15年と短いためである。器械備品減価償却率は77.2%と類似病院、全国平均を上回っているが、これは収益の減少による財政難により器械備品の新規整備・更新を最低限のものに抑制しているためであり、また1床あたりの有形固定資産の額は49,924,260円と昨年と比べ163,433円増加しているが、これは調剤支援システム等医療機器、蒸気ボイラー等施設の更新等を行ったことが大きな要因であり、共に類似病院、全国平均に比べて高く、これが減価償却費として費用の増大等につながることから、今後も経営状況等と照らし合わせながら適切な器械備品の整備・更新が必要である。

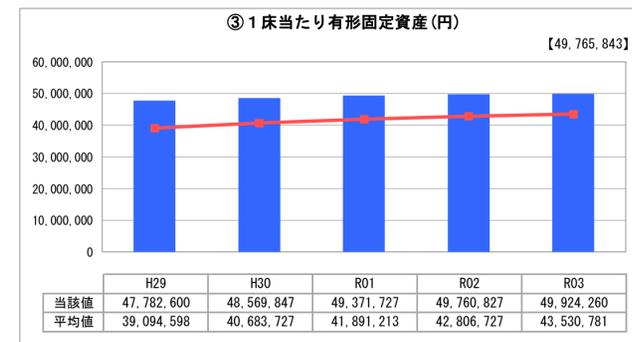
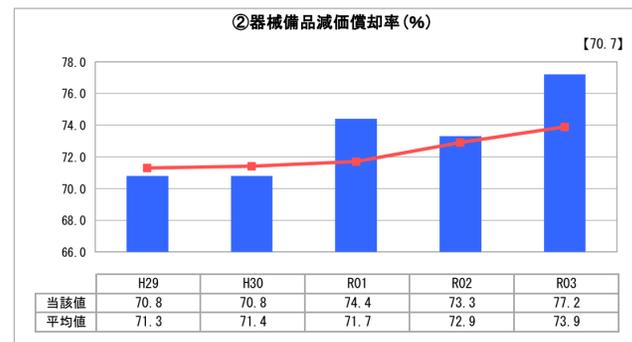
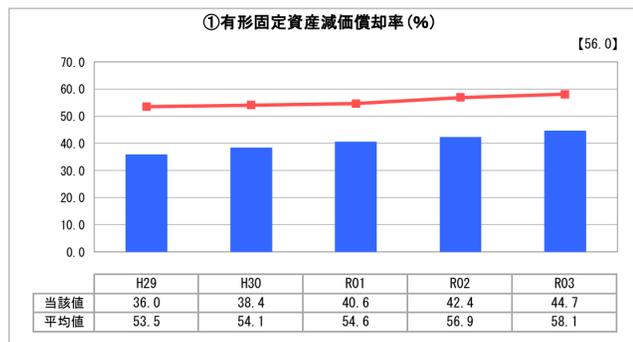
### 全体総括

今後は少子高齢化や人口減少等による医療需要の変化や医療圏における医療提供体制の変化を踏まえた病床数のあり方や経営形態の変更の要否の検討が必要である。また収益が減少しているため医師・看護師確保や、一部病床の地域包括ケア病棟への転換、他医療機関との連携強化、診療報酬の請求漏れや未収金対策等による収益確保を行うと共に、各部門の業務の見直しや効率化、職員の適正配置による人件費抑制、契約の見直しや入札による競争推進、医薬品等の調達方法の見直し、在庫管理の徹底による経費抑制、医療機器整備計画の策定による機器等の計画的な購入を行い、経営の健全性や効率性の向上のための更なる努力が必要である。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

岐阜県郡上市 県北西部地域医療センター国保白鳥病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
39,761	7,393	第2種該当	-	10 : 1

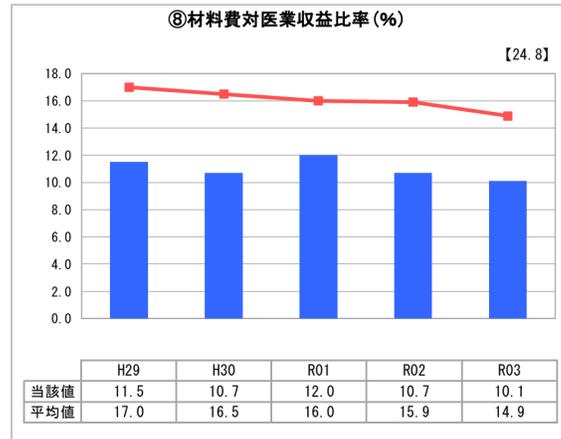
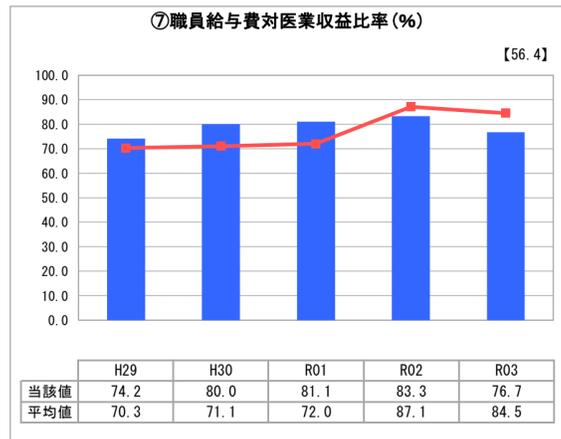
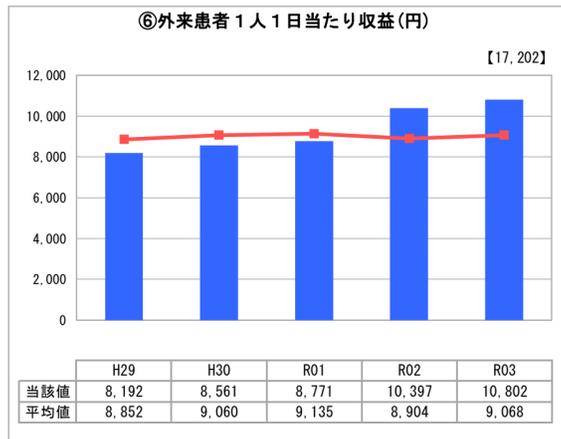
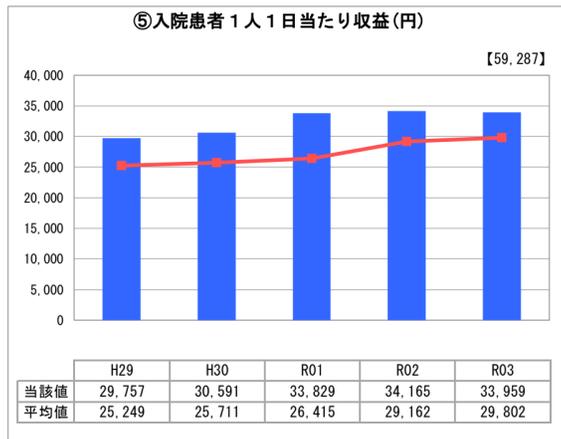
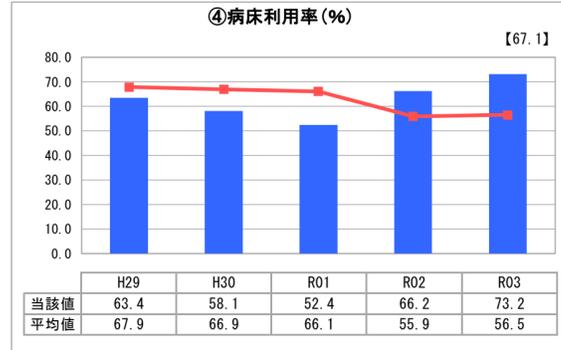
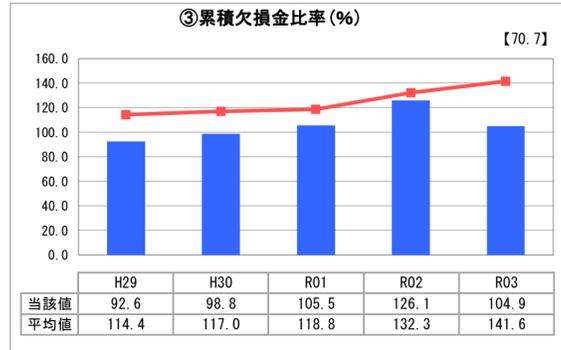
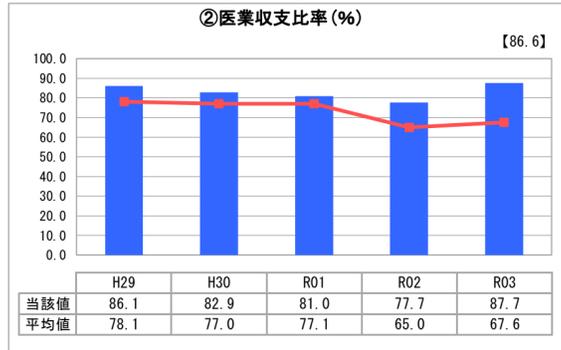
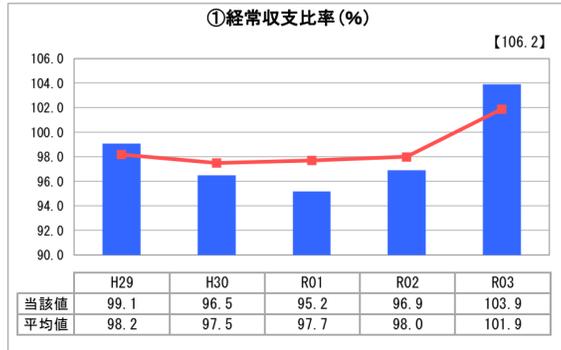
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

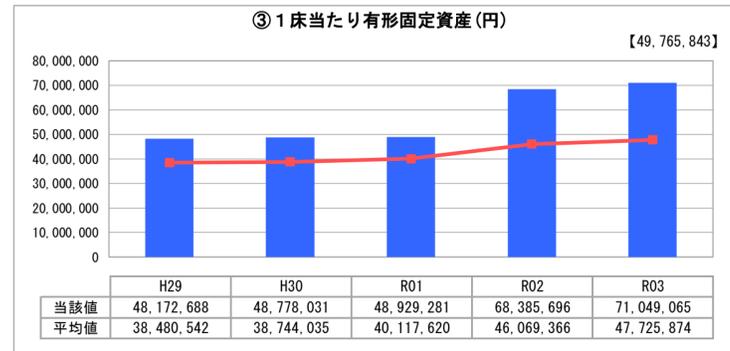
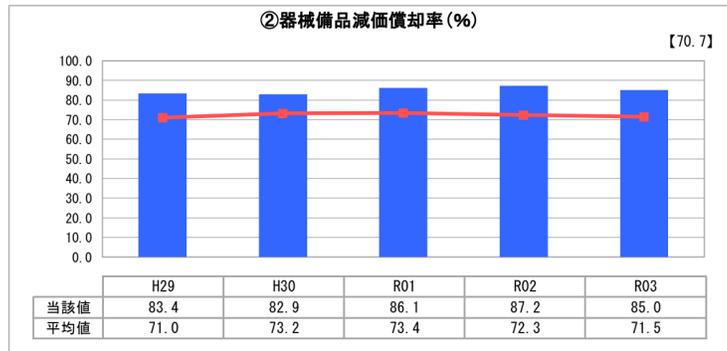
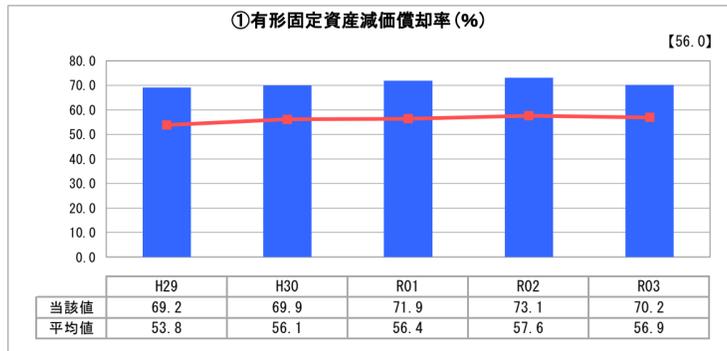
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
46	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	46
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
46	-	46

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均	

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

市北部地域の入院を主とした2次医療を高度医療提供病院との連携及び近隣民間病院との機能分担により担うとともに、当院と市内4診療所及び白川村2診療所、高山市荘川診療所が連携する「県北西部地域医療センター」の基幹病院として、へき地医療支援の中心的な役割を担っている。また、郡上市全域において、今後在宅の医療需要に派生して増加することが見込まれるレスパイトケアの受入ニーズが高まると想定されるため、地域包括ケア病床を活用し、これらの医療ニーズに対応していく。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率は昨年度と比較し7.0ポイント上昇し、類似病院の平均値を上回っている。要因としては入院、外来患者の増加による医業収益の増加に加え、新型コロナウイルスワクチン接種によるその他医業収益の増加によるものである。
- ・医業収支比率は昨年と比較し10.0ポイント上昇し、類似病院の平均値、全国平均とも上回っている。要因としては前述と同様である。
- ・累積欠損金比率は、年々増加傾向にあったが今年度は経常収支比率が100%を超えたため減少した。
- ・1人1日当たり収益については、類似病院と同等の数値を保っている。
- ・令和3年度の指標については昨年度と比較し全体的に良好な状態となった。今後も経常収支比率を100%以上とするため、収益を増加するための患者の確保及び経費削減を図り、健全経営の確保に向けて努力していく。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率ともに平均値を上回っており、老朽化が進んでいる。1床当たり有形固定資産については、令和2年度より大幅に増加し、平均値を23,323,191円上回っているが、要因としては令和2年度に病床数を64床から46床に削減したためである。今後、耐用年数の到来を見据えた計画的な施設整備を進めていく必要がある。

## 全体総括

人口減少や少子高齢化が急速に進展していく中で医療需要も大きく変化し地域ごとに適切な医療提供体制の再構築が必要となっている。市内の急性期病床は過剰な状態であったため令和2年度に病床数の削減と、全ての病床を地域包括ケア病床へと転換した。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により病床利用率が低下したが、今年度は在宅医療の強化により入院、外来共に患者数が増加した。今後は地域包括ケア病床として特に在宅療養支援と一般的な病気の対応を中心に、地域生活に密着した多岐にわたる入院ニーズに対応し取り組んでいく。有形固定資産原価償却率、器械備品減価償却率ともに平均値を上回っており、老朽化が進んでいるため、耐用年数の到来を見据えた計画的な施設整備を進めていく必要がある。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。